

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	広聴課広聴相談班				
事業名	さわやか県民相談(平成4年度～)				連絡先	078-362-3022				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①	50,994千円		50,995千円		52,182千円		54,425千円		
	経費内訳	報酬・賃金	36,858千円		37,057千円		37,083千円		34,834千円	
		委託料	3,226千円		3,268千円		3,461千円		3,365千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	10,910千円		10,670千円		11,638千円		16,226千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(779千円)		(970千円)		(987千円)		(747千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[地域創生基金])	(728千円)		(729千円)		(746千円)		(748千円)	
		(一般財源)	(49,487千円)		(49,296千円)		(50,449千円)		(52,930千円)	
	人件費②(a+b+c)	従事人員	4.4人		4.4人		4.4人		4.4人	
			39,762千円		38,178千円		39,177千円		39,525千円	
		職員給与費 a	34,500千円		34,390千円		33,915千円		33,858千円	
		賞与引当金繰入額 b	2,398千円		2,411千円		2,398千円		2,411千円	
退職手当引当金繰入額 c		2,864千円		1,377千円		2,864千円		3,256千円		
総コスト(①+②)	従事人員	4.4人		4.4人		4.4人		4.4人		
		90,756千円		89,173千円		91,359千円		93,950千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	年間相談件数	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		目 標		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000		
		実績(見込)		19,489	18,938	(17,745)	(25,000)			
		(単位当たりコスト)		(5千円)	(5千円)	(5千円)	(4千円)			
	[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
	達成率(見込)		78.0%	75.8%	(71.0%)	(100.0%)				
	県民意識調査	目 標		50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%		
		実績(見込)		32.9%	37.5%	(34.5%)	(50.0%)			
		(単位当たりコスト)		—	—	—	—			
		[うち事業拡大分]		—	—	—	—			
達成率(見込)		65.8%	75.0%	(69.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・インターネットの普及により相談件数が低下傾向にある一方で、自らが抱える問題の相談先や相談相手が身近にない高齢者等は増加しており、経験豊富な相談員が問題解決への誘導や専門相談窓口へ案内するなど、相談者のニーズに合った対応により事前整理の役割を果たしている。</p> <p>・また、県政に関することから日常生活の様々な悩みや相談など、幅広い内容を気軽に相談できる窓口として需要があり、年間相談件数は約18,000件と、身近な相談窓口としての役割を十分に果たしている。</p>									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	「がんばる地域」交流・自立応援事業（平成25年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	25,050千円		28,515千円		90,444千円		84,774千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	25,050千円		28,515千円		86,500千円		80,500千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		3,944千円		4,274千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(5,000千円)		(10,000千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(25,050千円)		(28,515千円)		(85,444千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(74,774千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人
			18,074千円		17,354千円		17,808千円		17,966千円
		職員給与費 a	15,682千円		15,632千円		15,416千円		15,390千円
		賞与引当金繰入額 b	1,090千円		1,096千円		1,090千円		1,096千円
退職手当引当金繰入額 c		1,302千円		626千円		1,302千円		1,480千円	
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
		43,124千円		45,869千円		108,252千円		102,740千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		実施地区数	目標	28	28	28	28	—	
	地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	実績（見込）	28	20	(28)	(28)			
		（単位当たりコスト）	(1,540千円)	(2,293千円)	(3,866千円)	(3,669千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	100.0%	71.4%	(100.0%)	(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目標	124,500	166,000	206,500	249,500	—		
		実績（見込）	142,097	185,000	(206,500)	(249,500)			
		（単位当たりコスト）	(0.3千円)	(0.2千円)	(0.5千円)	(0.4千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	114.1%	111.4%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・これまでに「地域再生大作戦」では、都市農村交流や賑わいづくり、コミュニティの再生などが図られてきたが、地域の自立に向けた事業の展開などが課題となっている。この課題に対し、地域の自立に向け、地域自らが地域力強化のために実施する取り組みに対して支援する必要がある。</p> <p>・地域の自由な発想による取組のきっかけとするための先進地視察・計画策定費・イベント開催・地域PRパンフレット作成費用相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。ハード整備の補助率は1/2としており、地元にも相応の負担を求めている。</p> <p>・着々と目標達成に向け進捗している。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	地域再生アドバイザー派遣事業（平成26年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	2,260千円		2,979千円		9,364千円		8,010千円	
	経費内訳	報酬・賃金	1,680千円		2,640千円		6,364千円		5,610千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	580千円		339千円		3,000千円		2,400千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(2,909千円)		(2,912千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(2,260千円)		(2,979千円)		(6,455千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(5,098千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		11,297千円		11,656千円		18,268千円		16,993千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		実施地区数	目 標	25	25	25	25	—	
	地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	実績（見込）	23	27	(25)	(25)			
		（単位当たりコスト）	(491千円)	(432千円)	(731千円)	(680千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	92.0%	108.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目 標	124,500	166,000	206,500	249,500	—		
		実績（見込）	142,097	185,000	(206,500)	(249,500)			
		（単位当たりコスト）	(0.1千円)	(0.1千円)	(0.1千円)	(0.1千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	114.1%	111.4%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集落活動の維持・継続が困難になる集落等の増加が予想され、今後を見据えた将来構想や集落が支え合うしくみづくり等の検討に対する支援が必要である。</li> <li>・ アドバイザー派遣による合意形成を促進するための先進地視察経費相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</li> <li>・ 着々と目標達成に向け進捗している。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</li> </ul>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	集落連携計画策定事業（平成27年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	3,263千円		2,000千円		10,405千円		10,405千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	3,263千円		2,000千円		10,000千円		10,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		405千円		405千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(5,202千円)		(5,202千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(3,263千円)		(2,000千円)		(5,203千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(5,203千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人
			18,074千円		17,354千円		17,808千円		17,966千円
		職員給与費 a	15,682千円		15,632千円		15,416千円		15,390千円
		賞与引当金繰入額 b	1,090千円		1,096千円		1,090千円		1,096千円
退職手当引当金繰入額 c		1,302千円		626千円		1,302千円		1,480千円	
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
		21,337千円		19,354千円		28,213千円		28,371千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		実施地区数	目標	10	10	10	10	—	
	地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	実績（見込）	5	2	(6)	(10)			
		（単位当たりコスト）	(4,267千円)	(9,677千円)	(4,702千円)	(2,837千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	50.0%	20.0%	(60.0%)	(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目標	124,500	166,000	206,500	249,500	—		
		実績（見込）	142,097	185,000	(206,500)	(249,500)			
		（単位当たりコスト）	(0.2千円)	(0.1千円)	(0.1千円)	(0.1千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	114.1%	111.4%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の集落の自立を基本としながら、集落単位では解決が難しい課題を、集落を越えた広域的単位で連携することにより解決を図り、住み続けられる地域づくりを支援する必要がある。</li> <li>・集落を越えた広域地域での組織づくりを進める基礎となる計画策定経費相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</li> <li>・現時点で目標達成には至っていない。その原因として広域連携の必要性について、個々の集落の意識醸成が不十分であること挙げられる。R1は市町の地域づくり施策と連携して周知活動を展開した結果、6件（前年度比300%）の実績があった。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</li> </ul>								
	3年目の見直し	—							

# 事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間				所管課班		地域振興課地域再生班						
事業名		小規模集落起業促進事業（平成27年度～）				連絡先		078-362-4308						
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額					
	事業費①		7,924 千円		8,922 千円		20,969 千円		14,969 千円					
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		補助金・交付金	7,924 千円		8,922 千円		20,000 千円		14,000 千円					
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		その他需用費等	0 千円		0 千円		969 千円		969 千円					
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(10,484千円)		(7,484千円)					
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		（その他〔地域創生基金〕）	(7,924千円)		(8,922千円)		(10,485千円)		(0千円)					
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(7,485千円)					
	人件費②（a+b+c）	従事人員		2.0人		2.0人		2.0人		2.0人				
				18,074 千円		17,354 千円		17,808 千円		17,966 千円				
		職員給与費	a	15,682 千円		15,632 千円		15,416 千円		15,390 千円				
		賞与引当金繰入額	b	1,090 千円		1,096 千円		1,090 千円		1,096 千円				
退職手当引当金繰入額		c	1,302 千円		626 千円		1,302 千円		1,480 千円					
総コスト（①+②）		従事人員		2.0人		2.0人		2.0人		2.0人				
		25,998 千円		26,276 千円		38,777 千円		32,935 千円						
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]						
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		元年度見込		2年度目標		最終目標【年度】	
	実施地区数(累計) 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)		目 標		15		20		25		30		—	
			実績(見込)		14		19		(24)		(30)			
			(単位当たりコスト)		(1,857 千円)		(1,383 千円)		(1,616 千円)		(1,098 千円)			
			[うち事業拡大分]		—		—		—		—			
	達成率(見込)		93.3%		95.0%		(96.0%)		(100.0%)					
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)		目 標		124,500		166,000		206,500		249,500		—	
			実績(見込)		142,097		185,000		(206,500)		(249,500)			
			(単位当たりコスト)		(0.2 千円)		(0.1 千円)		(0.2 千円)		(0.1 千円)			
			[うち事業拡大分]		—		—		—		—			
達成率(見込)		114.1%		111.4%		(100.0%)		(100.0%)						
評 価	<p>・ 過疎地域においてさらなる過疎化・高齢化が進むなか、働き口の減少、耕作放棄地の増大や獣害等、産業基盤の確保が大きな課題である。加えて、路線バスの廃止などによる公共交通の利便性低下、商店・スーパー等の閉鎖など集落における日常生活支援機能の低下が深刻な問題となっている。このため、生活支援サービスの事業化、直売所や特産品加工など地域で資金を循環させ、稼ぐしくみを構築することで、継続可能な地域づくりを進める。</p> <p>・ 外部人材と連携した地域事業の立ち上げにかかる資材購入・イベント開催・地域PRパンフレット作成費用相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</p> <p>・ R1からは生活支援サービス事業での車両導入費支援を追加。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</p>													
3年目の見直し	—													

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	戦略的移住推進モデル事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	6,520千円		11,199千円		22,401千円		38,224千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	6,520千円		11,199千円		22,000千円		38,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		401千円		224千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(11,200千円)		(19,112千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(6,520千円)		(11,199千円)		(11,201千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(19,112千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人
			18,074千円		17,354千円		17,808千円		17,966千円
		職員給与費 a	15,682千円		15,632千円		15,416千円		15,390千円
		賞与引当金繰入額 b	1,090千円		1,096千円		1,090千円		1,096千円
退職手当引当金繰入額 c		1,302千円		626千円		1,302千円		1,480千円	
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
		24,594千円		28,553千円		40,209千円		56,190千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		実施地区数	目標	2	3	3	3	—	
	地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	実績（見込）	2	3	(3)	(3)			
		（単位当たりコスト）	(12,297千円)	(9,518千円)	(13,403千円)	(18,730千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目標	124,500	166,000	206,500	249,500	—		
		実績（見込）	142,097	185,000	(206,500)	(249,500)			
		（単位当たりコスト）	(0.2千円)	(0.2千円)	(0.2千円)	(0.2千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	114.1%	111.4%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年本県からの人口転出が続いている中、東京圏からのUJIターン促進を図るため平成28年1月「カムバックひょうご東京センター」を設置し、移住促進を進めているところである。同センターと連携して移住者を積極的に受入れ、人口維持を図る地域をモデル的に支援することで、他地域への波及効果が見込まれ、UJIターンの促進につながる。</li> <li>戦略的な移住者受け入れ体制の構築のための計画策定費や、移住イベント出展費・移住コーディネーター設置経費相当を補助限度額として設定し、モデル事業として必要最小限の支援としている。</li> <li>R1からは受入地域側による空き家を活用した住環境整備支援を追加。市町を通じて事業周知を図るとともに、モデル事業としての成果を発信し今後着実に事業を実施することにより、目標達成に努める。</li> </ul>								
	3年目の見直し	—							

# 事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間				所管課班		地域振興課地域再生班						
事業名		大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業（平成28年度～）				連絡先		078-362-4308						
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額					
	事業費①		17,680 千円		17,677 千円		15,677 千円		6,445 千円					
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		補助金・交付金	17,680 千円		17,500 千円		15,000 千円		6,000 千円					
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円					
		その他需用費等	0 千円		177 千円		677 千円		445 千円					
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(8,838千円)		(7,838千円)		(3,222千円)					
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		（その他[地域創生基金]）	(17,680千円)		(8,839千円)		(7,839千円)		(0千円)					
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(3,223千円)					
	人件費②（a+b+c）	従事人員		2.0人		2.0人		2.0人		2.0人				
				18,074 千円		17,354 千円		17,808 千円		17,966 千円				
		職員給与費	a	15,682 千円		15,632 千円		15,416 千円		15,390 千円				
		賞与引当金繰入額	b	1,090 千円		1,096 千円		1,090 千円		1,096 千円				
退職手当引当金繰入額		c	1,302 千円		626 千円		1,302 千円		1,480 千円					
総コスト（①+②）		従事人員		2.0人		2.0人		2.0人		2.0人				
		35,754 千円		35,031 千円		33,485 千円		24,411 千円						
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]						
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		元年度見込		2年度目標		最終目標【年度】	
	地域創生拠点数(累計) 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)		目 標		10		12		12		1,200		—	
			実績(見込)		10		12		(12)		(1,200)			
	※R2からは、地域創生活動者数(地域拠点を中心とした地域での活動者数)		(単位当たりコスト)		(3,575 千円)		(2,919 千円)		(2,790 千円)		(20.3 千円)		/	
			[うち事業拡大分]		—		—		—		—			
			達成率(見込)		100.0%		100.0%		(100.0%)		(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)		目 標		124,500		166,000		206,500		249,500		—	
			実績(見込)		142,097		185,000		(206,500)		(249,500)			
			(単位当たりコスト)		(0.3 千円)		(0.2 千円)		(0.2 千円)		(0.1 千円)		/	
			[うち事業拡大分]		—		—		—		—			
達成率(見込)		114.1%		111.4%		(100.0%)		(100.0%)						
評 価	<p>・地域創生、地域再生の持続的な展開に当たっては、先進事例のノウハウや経験の共有、専門人材の有効活用、地域創生人材の育成等が不可欠である。地域創生拠点と大学、地域団体、行政等多様な主体の協働による持続可能な取組を全体的に推進する体制・枠組みの構築を図る。</p> <p>・拠点設置後の地域活動に必要な旅費や資材費等経費を補助限度額として設定し、拠点運営のための恒常的経費については大学等と地域等の負担とするなど、必要最小限の支援としている。また、ネットワーク形成のための会議開催費については、活動を持続的なものとしていくための拠点間交流や連携事業検討等を行うための必要最小限度の経費負担である。</p> <p>・R1までに12拠点を形成し、目標は達成している。今後は更なる地域創生活動を拡大していくため、地域創生拠点のほか地域再生大作戦で整備した地域交流拠点等での活動も支援できるよう見直し、大学等の活用を促す。</p>													
3年目の見直し	—													

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	地域運営組織法人化推進事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	2,008千円		4,292千円		10,232千円		15,232千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	2,008千円		4,292千円		10,000千円		15,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		232千円		232千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(2,146千円)		(5,116千円)		(7,616千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(2,008千円)		(2,146千円)		(5,116千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(7,616千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人
			18,074千円		17,354千円		17,808千円		17,966千円
		職員給与費 a	15,682千円		15,632千円		15,416千円		15,390千円
		賞与引当金繰入額 b	1,090千円		1,096千円		1,090千円		1,096千円
退職手当引当金繰入額 c		1,302千円		626千円		1,302千円		1,480千円	
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
		20,082千円		21,646千円		28,040千円		33,198千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		実施地区数(累計) 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	目 標	6	11	16	18	—	
		実績(見込)	3	8	(13)	(18)			
		(単位当たりコスト)	(6,694千円)	(2,706千円)	(2,157千円)	(1,844千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率(見込)	50.0%	72.7%	(81.3%)	(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目 標	124,500	166,000	206,500	249,500	—		
		実績(見込)	142,097	185,000	(206,500)	(249,500)			
		(単位当たりコスト)	(0.1千円)	(0.1千円)	(0.1千円)	(0.1千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	114.1%	111.4%	(100.0%)	(100.0%)				
評 価	<p>・これまでの「地域再生大作戦」の取り組みにより、特産品づくりや商品開発が一定の事業収益を上げる地域も現れ始めている。今後地域団体の法人化を進めることで、財産管理や収益配分のしくみを構築し、運営の透明化を図ることで、さらなる地域経済活動の持続的な展開を支援する。</p> <p>・地域活動の自立的・継続的運営のための法人化にかかるアドバイザー経費・法人設立経費相当等の初期経費を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</p> <p>・着々と目標達成に向け進捗しているものの目標達成には至っていない。その原因として法人化の意義や必要性について、集落側の意識が成熟していないことが挙げられる。今後は地域再生塾にて法人化研修を充実させ集落の意識を高めるとともに各市町を通じて、取組実施を促す。</p>								
3年目の見直し	—								



事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域振興課地域再生班			
事業名	県版地域おこし協力隊の設置（令和元年度～）				連絡先	078-362-4314			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	86,640千円	129,330千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	0千円	0千円			
		委託料	—	—	86,640千円	129,330千円			
		補助金・交付金	—	—	0千円	0千円			
		貸付金	—	—	0千円	0千円			
		その他需用費等	—	—	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	(43,320千円)	(64,665千円)			
		（県債）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（その他〔市町負担金、地域創生基金〕）	—	—	(43,320千円)	(32,332千円)			
		（一般財源）	—	—	(0千円)	(32,333千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	—	1.0人	1.0人			
			—	—	8,573千円	8,983千円			
		職員給与費 a	—	—	7,708千円	7,695千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	545千円	548千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	651千円	740千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	—	1.0人	1.0人				
		—	—	95,213千円	138,313千円				
	[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[43,110千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	—	—	30	45	—		
	県版地域おこし協力隊の設置人数	実績（見込）	—	—	(15)	(45)	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	(6,348千円)	(3,074千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	[958千円]			
		達成率（見込）	—	—	(50.0%)	(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目 標	—	—	206,500	249,500	—		
		実績（見込）	—	—	(206,500)	(249,500)			
		（単位当たりコスト）	—	—	(0.5千円)	(0.6千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町が地域おこし協力隊等外部人材を流入しているが、集落の高齢化や人口減少のスピードが速く、集落の人材不足が解消されないことから、県版地域おこし協力隊の導入により集落への人的支援を強化する。</li> <li>・国の地域おこし協力隊制度の要件に合致しない人材を県版地域おこし協力隊の対象とすることで、集落への人的支援の幅が広がる。</li> <li>・R元年度は県予算と市町予算の成立時期の乖離により、市町が年度当初より取り組むことができなかったため、実績が伸び悩んだ。R2年度は市町から活用要望も多く上がっており、目標達成に向け、さらに市町への制度活用の促進を図る。</li> </ul>								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間				所管課班		地域振興課地域再生班		
事業名		五国の元気づくり交流拠点モデル支援事業 (R1~)				連絡先		078-362-4314		
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		-		-		29,994千円		0千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		0千円		0千円	
		委託料	-		-		29,994千円		0千円	
		補助金・交付金	-		-		0千円		0千円	
		貸付金	-		-		0千円		0千円	
		その他需用費等	-		-		0千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	-		-		(14,997千円)		(0千円)	
		(県債)	-		-		(0千円)		(0千円)	
		(その他[ ])	-		-		(14,997千円)		(0千円)	
		(一般財源)	-		-		(0千円)		(0千円)	
	人件費② (a+b+c)		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	1.0人	従事人員	0.0人
			-		-		8,904千円		0千円	
		職員給与費 a	-		-		7,708千円		0千円	
		賞与引当金繰入額 b	-		-		545千円		0千円	
	退職手当引当金繰入額 c	-		-		651千円		0千円		
総コスト (①+②)		従事人員	-	従事人員	-	従事人員	1.0人	従事人員	0.0人	
		-		-		38,898千円		0千円		
[うち事業拡大分]		-		-		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	来店者数	目標	-		-	-	170,000	-		
		実績(見込)	-		-	-	(170,000)	-		
		(単位当たりコスト)	-		-	-	[0.2千円]	-		
		[うち事業拡大分]	-		-	-	[0千円]	-		
	交流拠点を活用したイベントの実施数	目標	-		-	-	5	-		
		実績(見込)	-		-	-	(12)	-		
		(単位当たりコスト)	-		-	-	(3,242千円)	-		
		[うち事業拡大分]	-		-	-	[0千円]	-		
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(総括KPI)	目標	-		-	-	206,500	-		
		実績(見込)	-		-	-	(206,500)	-		
		(単位当たりコスト)	-		-	-	[0.2千円]	-		
[うち事業拡大分]		-		-	-	[0千円]	-			
				-	-	(100.0%)	-			
評価	<p>・地域再生大作戦の取組により活性化しつつある地域を側面的に支援し、多自然地域ならではの魅力を都市部に広め、地域、集落自体の認知度向上、販路の拡大などを図ることで、地域の自立を後押しする。</p> <p>・年間約17万人の都市住民利用者が見込める元町マルシェを多自然地域の情報発信、交流拠点とすることで、都市と農村双方向の情報交流を促進を図るため、R1年度は交流発信拠点整備を併せて実施し、目標は概ね達成の見込みである、</p> <p>・R2年度以降は、集荷の簡素化等による輸送コスト削減への取組、大型小売店への出荷などによる販売網の拡大など、さらなる費用削減及び収益向上の取組の促進を図り、自立した経営ができるようマルシェの運営と一体で支援を行う。</p>									
	3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	総合農政課楽農生活室楽農生活班			
事業名	田舎暮らし楽農生活応援事業(平成28年度～)				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	5,843千円		6,655千円		15,150千円		12,886千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		2,000千円		2,200千円		0千円
		補助金・交付金	5,600千円		4,500千円		12,500千円		12,500千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		
		その他需用費等	243千円		155千円		450千円		386千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(2,921千円)		(3,327千円)		(7,575千円)		(6,443千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[地域創生基金])	(0千円)		(3,328千円)		(7,575千円)		(0千円)
		(一般財源)	(2,922千円)		(0千円)		(0千円)		(6,443千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		3,593千円
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		3,078千円
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		219千円
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		296千円	
総コスト(①+②)	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		9,457千円		10,125千円		18,711千円		16,479千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	楽農生活交流人口(万人) (ひょうご農林水産ビジョン2025(成果指標))	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		目標		1,120	1,130	1,140	1,150	1,200	
		実績(見込)		1,186	1,131	(1,145)	(1,150)	【7年度】	
		(単位当たりコスト)		(8千円)	(9千円)	(16千円)	(14千円)		
	[うち事業拡大分]		-	-	-	-			
	達成率(見込)		105.9%	100.1%	(100.4%)	(100.0%)			
	田舎暮らし農園施設整備、空き家改修の実施地区数(累計) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム(目標))	目標		20	30	40	50	60	
		実績(見込)		13	18	(20)	(50)	【3年度】	
		(単位当たりコスト)		(727千円)	(563千円)	(936千円)	(330千円)		
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率(見込)		65.0%	60.0%	(50.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・定住や二地域居住を支援する施設整備(ハード)事業と研修(ソフト)事業を合わせて実施することで、有効かつ効果的な事業となり、農村部の活性化を図り、地域創生を推進することができる。</p> <p>・地元市町や県民局等の関係機関と連携して、効果的に事業周知を進めるなど、最低限のコストで効率的な事業実施に努める。</p> <p>・引き続き都市住民が農山村を訪れ、農作物の栽培体験など『農』に関わる仕組みを創出していくことにより目標達成に努める。</p> <p>(参考 元年度当初から空き家を活用して農林漁業体験民宿を整備する場合、補助上限額を1,000千円→1,500千円とする拡充を実施)</p>								
3年目の見直し									

# 事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間		所管課班	住宅政策課住宅政策班				
事業名	・オールトニュータウン再生モデル事業（平成23年度～） ・郊外型住宅団地再生先導的支援事業（平成28年度～）		連絡先	078-362-3595				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	2,536千円	2,252千円	15,042千円	15,772千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	2,529千円	2,242千円	2,052千円	3,618千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	10,826千円	10,526千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	7千円	10千円	2,164千円	1,628千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(1,267千円)	(1,126千円)	(5,328千円)	(5,655千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔地域創生基金繰入金〕）	(0千円)	(1,126千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(1,269千円)	(0千円)	(9,714千円)	(10,117千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人		
			18,074千円	17,354千円	17,808千円	17,966千円		
		職員給与費 a	15,682千円	15,632千円	15,416千円	15,390千円		
		賞与引当金繰入額 b	1,090千円	1,096千円	1,090千円	1,096千円		
退職手当引当金繰入額 c		1,302千円	626千円	1,302千円	1,480千円			
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人			
		20,610千円	19,606千円	32,850千円	33,738千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[4,500千円]	[1,885千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	コミュニティ再生活動団体登録数（地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））	目標		3	3	3	3	—
		実績（見込）		3	3	(3)	(3)	
		（単位当たりコスト）		(6,870千円)	(6,535千円)	(10,950千円)	(11,246千円)	
		〔うち事業拡大分〕		—	—	[1,500千円]	[628千円]	
	達成率（見込）		100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	新たに再生に向けた協議会等を設立した団地数（21世紀長期ビジョン・活力あるふるさと兵庫実現プログラム）	目標		2	2	2	2	—
		実績（見込）		4	1	(2)	(2)	
		（単位当たりコスト）		(5,153千円)	(19,606千円)	(16,425千円)	(16,869千円)	
		〔うち事業拡大分〕		—	—	[2,250千円]	[943千円]	
達成率（見込）		200.0%	50.0%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>県内のニュータウンの先駆けである明舞団地においては、コミュニティ再生活動団体登録数が概ね目標通りに推移している。引き続き住民主体のまちづくりモデル事業を実施するとともに、令和元年度はサブセンター等の空き区画の活用への支援、令和2年度は新たにマンション再生への支援により、その再生の取組成果を他のニュータウンに周知するとともに、地域や市町が実施する再生に向けた取り組みを支援する必要がある。</p> <p>郊外型住宅団地再生先導的支援事業では28年度からの出前講座等の実施により29年度は協議会設立団地数が伸びたが、その後の実績が伸び悩んでいることから、引き続き地域への出前講座や地元市町へのニュータウン再生の必要性を周知し、再生に取組む地元活動団体等を支援する体制を整え、目標の達成を図る。</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間			所管課班	住宅政策課住宅政策班				
事業名	優良な住宅ストックの有効活用（平成19年度～） （空き家活用支援事業、古民家再生促進支援事業、インスペク ション普及支援事業）			連絡先	078-362-3581（インスペク ション） 078-362-3583（空き家活用及び 古民家再生）				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	49,590千円	65,986千円	143,659千円	144,279千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	4,022千円	3,731千円	4,240千円	4,368千円			
		補助金・交付金	45,168千円	61,963千円	139,144千円	139,455千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	400千円	292千円	275千円	456千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(24,795千円)	(32,993千円)	(66,737千円)	(67,191千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[地域創生基金繰入金]）	(0千円)	(32,993千円)	(20,911千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(24,795千円)	(0千円)	(56,011千円)	(77,088千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人
			27,111千円	26,031千円	26,712千円	26,949千円			
		職員給与費 a	23,523千円	23,448千円	23,124千円	23,085千円			
		賞与引当金繰入額 b	1,635千円	1,644千円	1,635千円	1,644千円			
退職手当引当金繰入額 c		1,953千円	939千円	1,953千円	2,220千円				
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	従事人員	3.0人	
		76,701千円	92,017千円	170,371千円	171,228千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[15,500千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	空き家活用支援事業の実施件数(21世紀長期ビジョン・活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	67件	70件	80件	90件	—		
		実績（見込）	28件	35件	(50件)	(90件)			
		（単位当たりコスト）	(2,739千円)	(2,629千円)	(3,407千円)	(1,903千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	[310千円]	—			
	達成率（見込）	41.8%	50.0%	(62.5%)	(100.0%)				
	古民家再生促進支援事業改修工事費補助の実施件数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	5件	5件	5件	10件	—		
		実績（見込）	3件	3件	(3件)	(10件)			
		（単位当たりコスト）	(25,567千円)	(30,672千円)	(56,790千円)	(17,123千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	[5,167千円]	—			
達成率（見込）	60.0%	60.0%	(60.0%)	—					
評価	間もなく、団塊の世代が相続期を迎え、空き家が急激に増加することが予想される。そのため、空き家の発生を抑えるとともに、空き家や古民家の利活用の推進を図る施策が必要である。 空き家活用支援事業・古民家再生促進支援事業ともに、平成29年度より一定の耐震性能を有することを要件に含めたことにより事業実績が伸び悩んでいるが、事業の周知は進みつつあり、また、随伴補助を行う市町数も増加しているため、事業実施件数は増加傾向であり、引き続き市町の随伴補助制度化についても働きかけていく。 また、令和元年度からは、古民家再生促進支援事業において、より面的な再生が促進されるよう、歴史的景観形成地区等に限り、賃貸住宅として再生する施設を補助対象に追加している。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	都市計画課土地利用班			
事業名	まちなか再生協議会等の運営支援（平成27年度～）				連絡先	078-362-9296			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	4,966千円		10,919千円		16,500千円		16,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	1,616千円		4,402千円		7,500千円		7,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	3,350千円		6,517千円		9,000千円		9,000千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(2,483千円)		(5,459千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[ ]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(2,483千円)		(5,460千円)		(16,500千円)		(16,000千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人
			18,074千円		17,354千円		17,808千円		17,966千円
		職員給与費 a	15,682千円		15,632千円		15,416千円		15,390千円
		賞与引当金繰入額 b	1,090千円		1,096千円		1,090千円		1,096千円
退職手当引当金繰入額 c		1,302千円		626千円		1,302千円		1,480千円	
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
		23,040千円		28,273千円		34,308千円		33,966千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[2,500千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	まちなか再生計画策定件数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	3	4	5	6	—		
		実績(見込)	2	4	(5)	(6)			
		(単位当たりコスト)	(11,520千円)	(7,068千円)	(6,862千円)	(5,661千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	[417千円]			
	達成率(見込)	66.7%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	前年度と比較してにぎわいのまちづくりが進んだと回答した協議会の数	目標	—	5	6	7	—		
		実績(見込)	—	5	(6)	(7)			
		(単位当たりコスト)	—	(5,655千円)	(5,718千円)	(4,852千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	[357千円]			
達成率(見込)	—	100.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗の増加等が進む商店街とその商圈となる周辺住宅地において、商店街の活性化及びまちの再整備に資する施策を総合的に実施する必要がある。</li> <li>・着実に成果は上がっているが、目標達成のためには今後も継続した事業実施が必要である。</li> <li>・R元年度から各協議会の知見を集約・昇華する連合体「まちなか再生会議」を運営し、研修、情報共有、意見交換等を実施している。</li> <li>・R2年度から協議会設立後6年目以降における居住者の住み替えや商業者の移転、誘致等への取組に対する支援を実施する。</li> </ul>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間			所管課班		住宅政策課住宅政策班			
事業名		リノベーションまちづくり推進事業（令和元年度～）			連絡先		078-362-3581			
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		—		—		12,000千円		20,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	—		—		0千円		0千円	
		委託料	—		—		0千円		8,000千円	
		補助金・交付金	—		—		12,000千円		12,000千円	
		貸付金	—		—		0千円		0千円	
		その他需用費等	—		—		0千円		0千円	
	（財源内訳）	(国庫支出金)	—		—		(6,000千円)		(10,000千円)	
		(県債)	—		—		(0千円)		(0千円)	
		(その他[地域創生基金])	—		—		(6,000千円)		(10,000千円)	
		(一般財源)	—		—		(0千円)		(0千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			—		—		8,904千円		8,983千円	
		職員給与費 a	—		—		7,708千円		7,695千円	
		賞与引当金繰入額 b	—		—		545千円		548千円	
	退職手当引当金繰入額 c	—		—		651千円		740千円		
総コスト（①+②）		従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		—		—		20,904千円		28,983千円		
[うち事業拡大分]		—		—		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	リノベーションまちづくり推進事業により設立されたまちづくり会社数		目 標		—	—	1	1	—	
			実績（見込）		—	—	(0)	(1)		
			(単位当たりコスト)		—	—	—	(28,983千円)		
			[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
	達成率（見込）		—	—	(0.0%)	(100.0%)				
	リノベーションスクールの開催回数		目 標		—	—	3	4	—	
			実績（見込）		—	—	(1)	(4)		
			(単位当たりコスト)		—	—	(20,904千円)	(7,246千円)		
			[うち事業拡大分]		—	—	—	—		
達成率（見込）		—	—	(33.3%)	(100.0%)					
評価	<p>商店街などの中心市街地だけでなく、商店街の周辺地域やニュータウン等の遊休不動産を活用することで、まちの再生・活性化を図る。</p> <p>市町向け事業説明会や、明舞団地で開催している事前講演会などにも積極的な出席を求めることで、リノベーションまちづくりに取組む市町が増加しつつあることから、R2年度はリノベーションスクール開催回数は増加する見込み。</p>									
3年目の見直し	—									